



第1039号
2007年6月10日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

WEB: http://www.nskk.org/tokyo/index.htm E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇6月の代祷・信施奉献先
▽きぼうのいえのため▽東京教区
神学生のため(聖霊降臨後第2主
日・6月10日)▽沖縄教区のため
▽沖縄週間(沖縄慰霊の日・6月
17日~23日)▽エリザベスサン
ダースホームのため

《奉献先から》 野宿生活者の
休息施設きぼうのいえ

2002年10月に開設されて
約4年半あまり。その間に48人を
看取りました。その誰もが静かで
穏やかな最期を迎えました。苦難
の多い人生の終わりにスタッフや
ボランティアの愛に包まれて、喜
びと安息、平安を存分に楽しんで
ただけることは、私たちにとつ
てもこの上ない喜びです。死を前
に誰ひとり恐怖や不安に打ちのめ
されず、悠然と死を受容する姿に

今週・来週の予定

6月10日~23日

- 10(日) 聖霊降臨後第2主日
主教巡回
牛込聖バルナバ教会
- 11(月) 幼稚園委員会
- 12(火) 銀座朝拝会
常置委員会
- 13(水) 礼拝音楽委員会
エルサレム教区協働委員会
- 14(木) 主教座聖堂活動委員会
聖職養成委員会
人権委員会 (聖バルナバ)
- 15(金) 信徒講座=教会の歴史
- 16(土) 正義と平和協議会:講演会
- 17(日) 聖霊降臨後第3主日
主教巡回
阿佐谷聖ペテロ教会
- 18(月) 財政委員会
- 20(水) 教役者レクイエム
- 22(金) 城南G 牧師協議会
(聖オルバン)
- 23(土) 信徒講座:雨宮神父(聖ルカ)

は、畏敬の念を覚えます。元路
上生活者というレッテルをなく
し、人間対人間として入居者の
皆さんと向き合うとき、私は神
の愛が燃え盛り、聖霊の息吹が
吹きわたるのを感じます。

施設長 山本雅基

▽立教大学教会音楽研究所

チャプレン室主催レクチャーコン
サート「聖書の女性に出会う」
①「ミリアム」、6月28日(木) 17
時15分から約1時間、立教諸聖徒
礼拝堂(池袋)。上田亜樹子司祭
(大学チャプレン)によるレク
チャーと器楽演奏(チャプレン企
画礼拝の一環)。入場無料。電話03
(3985)2786・同研究所。

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

最近英国では「奴隷制への教会の関
与」についての論議が盛んで、その中
も James Ramsay (1733-178
9) の奴隷反対運動への功罪について
の論争に関心を持っています。

《恵みに生かされて》

ラムゼイは海軍
に入隊し、西イン
ド諸島で奴隷船取
締りと奴隷反乱鎮
圧に従事し、この
体験をもとに植民

愛に活かされる

執事 遠藤 雅己

地におけるアフリカ奴隷の過酷な処遇
に対する弾劾書を出版しました。これ
が18世紀英国の奴隷反対運動の火付け
役となったと言われています。彼はそ
の後司祭となり、ケント州の英国教会
牧師として亡くなりました。

現在ラムゼイが批判されているの
は、彼は結局白人の奴隷に対する倫理

を問題とし、奴隷制度とその背景と
なった社会体制を批判しなかったとい
う点にあります。確かに、それが彼の限
界だったと言えましょう。しかし限界
だらけの彼の著作に、誰もが感じる奴

隷への深い「共感」は何
なのでしょいか。批判
されているように、彼
は自分の奴隷を解放す
ることなく、まるで家
族のように生活し、遺

言により兄のように慕った奴隷ネス
ターの傍らに葬られました。

あらゆる意味で18世紀の限界を超え
ることがなかった一牧師が、隣人たる
奴隷への愛故に、想像もしなかった方
法で召され、活かされた「物語」です。

(神戸国際大学出向・経済学部教授)

信仰と生活委員会報告(5月25日)
 *各種信徒講座・諸催事・教会
 G協議会活動等の諸報告と振り
 返り、主教・宣教主事報告等
 *「青年たちによる大人のため
 のキャン普」(8月28日〜30日・
 箱根スコーレプラザ)の企画
 (後援)につき参加呼び掛け開始
 報告

*ソウル教区訪問企画(10月)の
 進捗報告(近く案内書発行へ)

▽沖縄週間／沖縄の旅 沖縄
 教区と管区正義と平和委員会主
 催により6月22日(金)〜25日
 (月)、沖縄諸地で。今年のテー
 マは「命どう宝くキリストの希
 望は痛みの共感から」。06年
 第56(定期)日本聖公会総会決
 議にもとづく継続実施で、沖縄

週間(17日〜23日)を覚えて各
 教区・教会で「沖縄週間の祈
 り」もささげられる。東京教区
 からは中村真理スタッフ(聖マ
 ルコ)のほか前田良彦司祭、信
 徒3人が個人参加。

▽信徒講座(教会の歴史)

信仰と生活委員会主催・竹内謙
 太郎司祭講師「教会改革の足跡
 ⑨」教会の世俗化、ヒューマニ
 ズムの台頭、6月15日(金)19
 時〜21時、教区会館。参加費5
 百円。次回7月20日⑩でシリ
 ズを終了。照会は教区宣教主事
 宛に。

▽山手教会グループ信徒の集

い 6月17日(日)14時、聖マ
 ガレット教会で。映画「こころの
 湯」を鑑賞後、各教会トピック紹
 介と報告など「観て・聴いて・語

り・交わり、夕の礼拝をとも
 に」。無料。照会〓会場教会・電
 話03(3334)2812。

▽聖アンデレ教会チャリティ
 コンサート「教会にJAZZが
 来た！」6月23日(土)18時
 開演、お馴染み竹下ユキとピッ
 グ・ウイング・ジャズオーケス
 トラの演奏。全席自由。当日券
 2千円・前売り千八百円、益金
 は諸NGO等の援助に。同教会
 電話03(3431)2822。

▽目白聖公会主催「こんのひ
 とみコンサート」シンガソ
 ングライター自身が歌う「パパと
 あなたの影法師」などを中心にし
 た1時間「出前ライブ」で、6月23
 日(土)14時〜15時、目白聖公会
 ホール。手話通訳付、入場無料。照
 会電話03(3951)5010。

【学びと働きから】46

教会音楽祭

教会音楽祭は、ルーテル、カ
 トリック、聖公会の合同発案に
 よるエキシメニカルな集会とし
 て1968年から続けられ、今
 年で第28回を数えます。今年の
 テーマは「いのちの輪」今日、
 私はあなたを生んだ」。

老いも若きも主に結ばれて、
 いのちの尊さをこぞって賛美し
 よう、との意図をもって、教派
 それぞれの礼拝音楽をささげ合
 います。特に今年は、創作聖歌
 を公募し、結果、三つの新作聖
 歌が歌い初めとなります。

今年の参加は、カトリック教
 会、福音ルーテル教会、日本基
 督教団、バプテスト連盟、カン
 バーランド長老キリスト教会、

福音派諸教会有志、そして聖公
 会の七教派。聖公会は東京教区
 聖歌隊が、合唱曲と新「聖歌集」
 から奉唱します。

音楽祭の開催には、各教派か
 ら派遣された実行委員会が編成
 され、東京教区は礼拝音楽委員
 が創設当初から関わりを続けて
 きました。来年は、40周年を迎
 えるので、記念集会の企画も進
 行中です。

教派的な多様性と同時に、
 教会は「主にあつて一つの
 体」であることが、カトリック
 東京カテドラル聖マリア大聖
 堂に集う約千人の会衆の歌声
 によって、世に証されるで
 しょう。6月17日(日)15時、
 多くの方の参加を…。

礼拝音楽委員長 司祭 宮崎光

《今、この教会では…》

聖マガレット教会

当教会では昨年、未来検討委
 員会を発足、数々の施策を立
 案、都度教会委員会の承認を得
 て実施してきた。その中から一
 部ご紹介いたします。昨年のクリス
 マスには地元三鷹台商店会の協
 力を得て、街中にてキャロリン
 グを実施、好評を得た。また、
 今年のイースターにても商店会
 の協力を得ていくつかの店先に
 ポスターを貼らせていただき、
 簡単な説明書も置かせてもらっ
 た。お店によれば結構反響が
 あつたとのことで、多少は地元
 での知名度が上がったのではな
 いかと思う。継続は力なり。今
 後も地道な活動を続けてゆこう
 と考えている。(三崎 肇)